

# Europe Indicators

発表日:2021年1月15日(金)

## 欧州経済指標コメント:11月英国月次GDP

～第一波に比べて軽微な落ち込み～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理(Tel:03-5221-4527)

- ・ 昨年11月の英国の実質GDP成長率は前月比▲2.6%と7ヶ月振りのマイナス成長に転落したが、事前予想や春の第一波に比べて落ち込みは軽微にとどまった。業種別には、建設業(同+1.9%)が底堅く拡大し、電力・ガス(同▲2.3%)の落ち込みを主因に製造部門(同▲0.1%)が小幅減となるなか、サービス部門(同▲3.4%)の落ち込みが全体の計数を押し下げた。サービス業の内訳は、宿泊・外食(同▲44.0%)を筆頭に、その他サービス(同▲22.8%)、教養・娯楽(同▲14.0%)、卸小売(同▲5.6%)、事務サービス(同▲2.0%)、情報通信(同▲2.0%)、教育(同▲1.3%)と幅広い業種で落ち込んだ。こちらも春の第一波と比べて全般に落ち幅は軽微。
- ・ 12月の実質GDP成長率が前月比で▲0.8%以上落ち込まない限り、10-12月期はマイナス成長を回避。12月が例えば前月比で▲3%落ち込んだ場合、10-12月期の実質GDPは前期比▲0.7%と小幅マイナス。1-3月期の前期比▲2.8%と並ぶには、12月が前月比で▲9.2%もの大幅な落ち込みとなる必要がある。10-12月期の成長率は前期比で横ばいから小幅マイナス圏で着地しそうだ。
- ・ 英国では1月に都市封鎖を強化した後もコロナの感染者や死者が高止まりしており、近く行動制限を一段と強化する可能性が高まっている。スマホの位置情報に基づく混雑状況は「小売・娯楽」で1月に入って一段と落ち込み、春の第一波に接近する一方、「職場」の落ち込みは第一波に比べて軽微なものにとどまる。都市封鎖の強化延長で1-3月期の成長率がマイナスに転落することは避けられそうにないが、それでも4-6月期の前期比▲18.9%のようなことにはならない。

■英国:月次GDPの推移



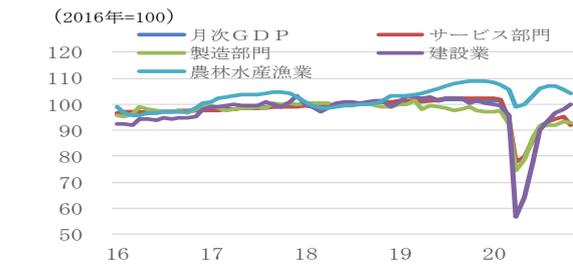
出所:英統計局

■英国月次GDP (季節調整済み)

	2020				2020											
	1Q	2Q	3Q	4Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
四半期GDP	-3.0	-18.8	16.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
月次GDP	-2.8	-18.9	16.1	-	0.0	-0.3	-7.3	-18.8	3.2	9.3	6.5	2.1	1.1	0.6	-2.6	-
農林水産漁業	-1.7	-6.0	6.1	-	-0.5	-0.8	-1.8	-6.1	0.8	3.0	2.9	1.2	-0.1	-1.4	-1.5	-
製造部門	-2.2	-16.4	14.8	-	0.0	0.4	-5.3	-19.6	5.9	10.8	5.1	0.2	0.4	1.1	-0.1	-
建設業	-2.2	-32.6	41.1	-	0.0	-0.9	-3.6	-40.7	13.0	21.2	15.9	4.3	2.6	1.5	1.9	-
サービス部門	-3.0	-18.2	14.6	-	0.0	-0.4	-7.9	-17.0	2.2	8.3	6.0	2.2	1.1	0.5	-3.4	-
PMI 総合	47.4	30.5	57.5	50.5	53.3	53.0	36.0	13.8	30.0	47.7	57.0	59.1	56.5	52.1	49.0	50.4
製造業	49.8	41.1	54.2	55.6	50.0	51.7	47.8	32.6	40.7	50.1	53.3	55.2	54.1	53.7	55.6	57.5
建設業	46.8	30.8	56.5	54.1	48.4	52.6	39.3	8.2	28.9	55.3	58.1	54.6	56.8	53.1	54.7	54.6
サービス業	47.2	29.8	57.1	49.5	53.9	53.2	34.5	13.4	29.0	47.1	56.5	58.8	56.1	51.4	47.6	49.4

出所:英統計局、IHS Markit

■英国:月次GDPの業種別推移



出所:英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。